

ロマネスクの精神性を意識した 現代における質実剛健な聖堂

日本建築学会2010 北陸大会デザイン発表会
明星大学・村上晶子アトリエ
村上晶子

カトリック調布教会



表6. b. 4-1
カトリック調布教会 主聖堂

量的データ		単位
収容席数	300	席
聖堂形状※1	タイプ3	
形状※2	形式B	
聖堂の面積	360	㎡
a 縦軸距離	22085	mm
b 聖堂幅	21345	mm
縦横比	1.0:1.0	
体積	2535	㎡
c1 最低高さ	5125	mm
c2 最高高さ	10700	mm
平均高さ	7040	mm
壁面積	510	㎡
採光部面積	35.0	㎡
開口率	5	%
ステンドグラス	12.5	㎡
透明ガラス	22.5	㎡
ステンド面積H≤3m	3.5	㎡
ステンド面積H>3m	9.0	㎡
採光部面積H≤3m	3.5	㎡
採光部面積H>3m	31.5	㎡
d 内陣面積	35.5	㎡
内陣/全体	10	%
e 信徒席面積	165	㎡
信徒席/全体	46	%
f 入口から祭壇距離	18845	mm
入口の数	4	
g 入口幅(合計)	6900	mm
h 席の前後間隔	900	mm
i 席の間隔	500	mm
席の高さ, 床の勾配	図示	
j1 最前席と祭壇距離	3760	mm
j2	6605	mm
k1 最後席と祭壇距離	10445	mm
k2	14540	mm
l1 祭壇と前列端角度	14°	
l2	77°	
m1 祭壇と後列端角度	60°	
m2	21°	
n 祭壇と後壁距離	3530	mm
o1 最前席と象徴距離	7675	mm
o2	6420	mm
p1 最後席と象徴距離	12040	mm
p2	17090	mm
q1 最前席と象徴の角度	23°	
q2 最後席と象徴の角度	9°	
FFEデータ		
Finish		
床	石目調型押しコンクリート	
内陣床	石灰岩	
壁	漆喰調塗装	
天井	パーライト吹き付け	
その他	ダル・ド・ヴェールの光背	
Furniture		
祭壇	大理石ページガララ	
Equipment		
空調	空調	
音響	線音源スピーカー	
照明	150Lx~300Lx	

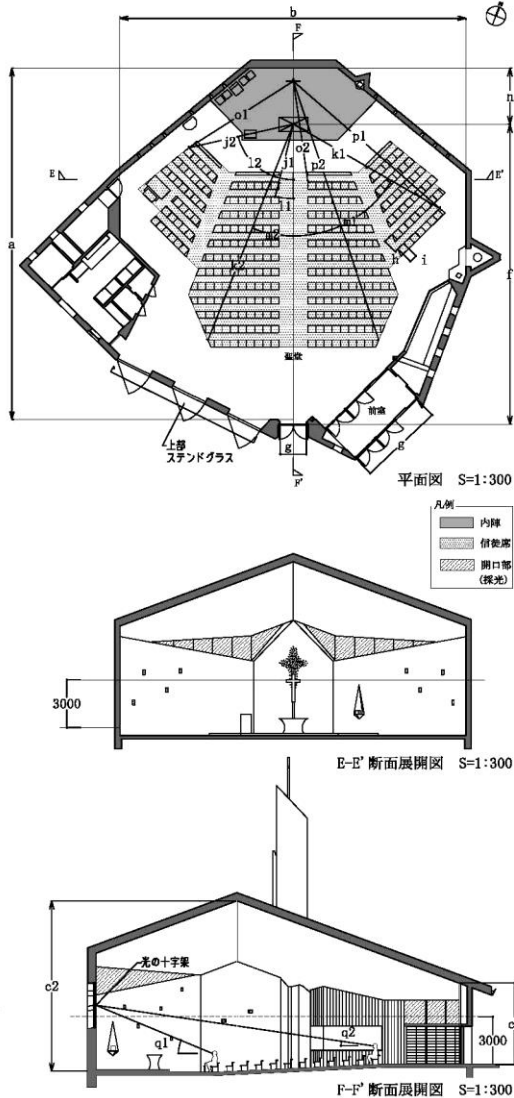


図6. b. 4-1

カトリック調布教会



写真データ

A. 聖堂

B. イ. 東側外観
C. ウ. 鐘楼を望む
D. エ. 鳥瞰

E. オ. 回廊
F. カ. エントランスと鐘楼

G. キ. ダルド・ド・ヴェールによる光背
H. ク. 外部聖堂を望む
I. ケ. 祭壇と十字架

カトリック調布教会の設計競技の条件

現代の典礼に合致した聖堂

長寿命の建築

超ローコスト

本質的な祈りの場の創造

カトリック調布教会の設計競技への回答

現代の典礼に合致した聖堂

『教会建築の現代化
(アジョルナメント)
というプログラム』

カトリック教会のプログラムの普遍性と「アジュールナメント」

1962年 教皇ヨハネス23世 (Johannes XXIII 1958-1963)

第二バチカン公会議

典礼に係る普遍のプログラム

初代教会に立ち返り再認識

現代の世界における地域性、文化も勘案した「宣言」

『刷新』 Aggiornamento の精神

現代の日本の現況の中でどのように空間に具現化したか

「アジュールナメント」(英語では“up to date”)

教会の今日化、現代化

「この日(時代)になったのだから、
この日に合わせてものを作しましょう」

カトリック教会における普遍の建築プログラム

- ・教会の普遍的プログラムの第一

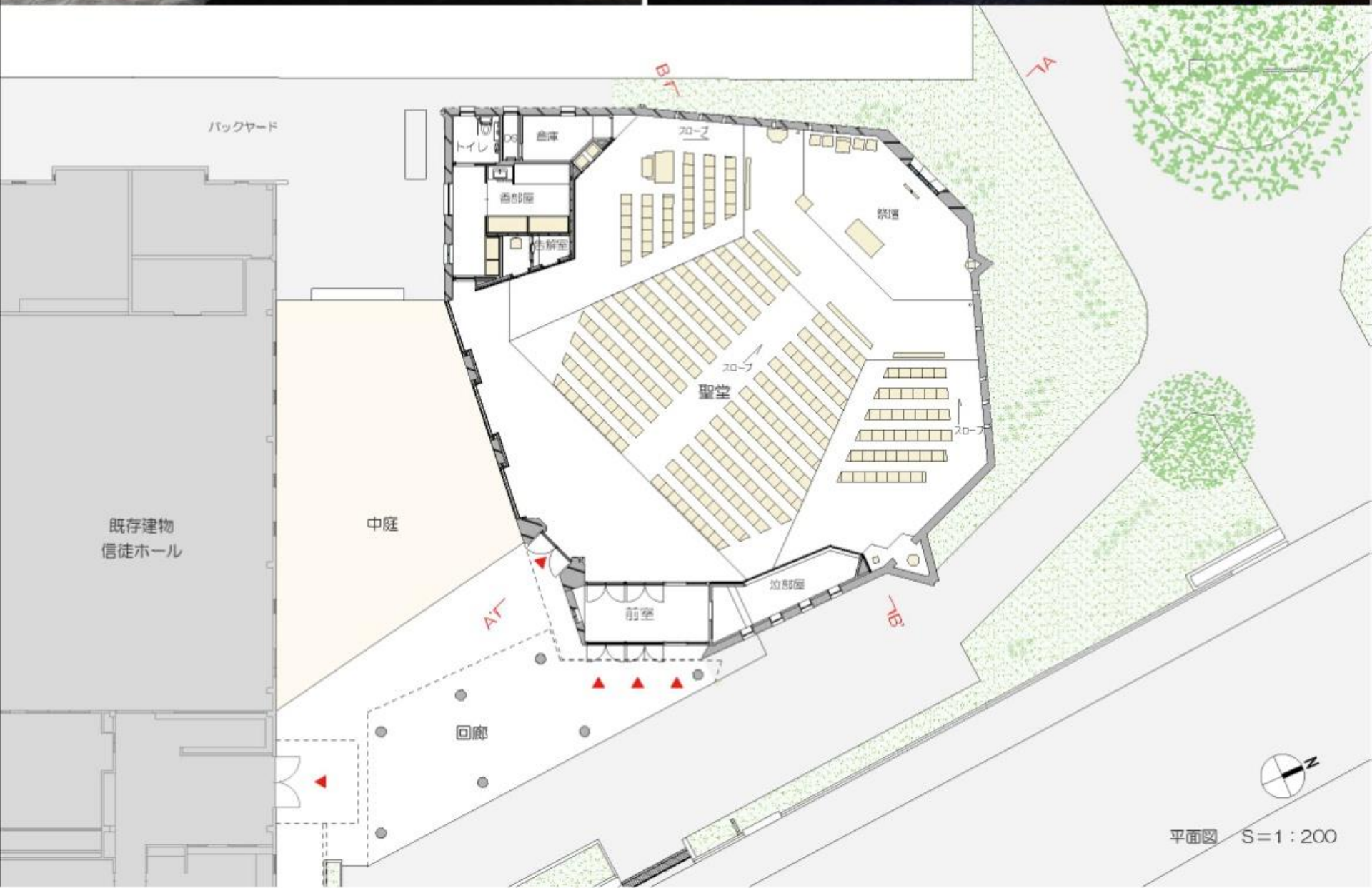
ことばの典礼の場

- ・教会の普遍的プログラムの第二

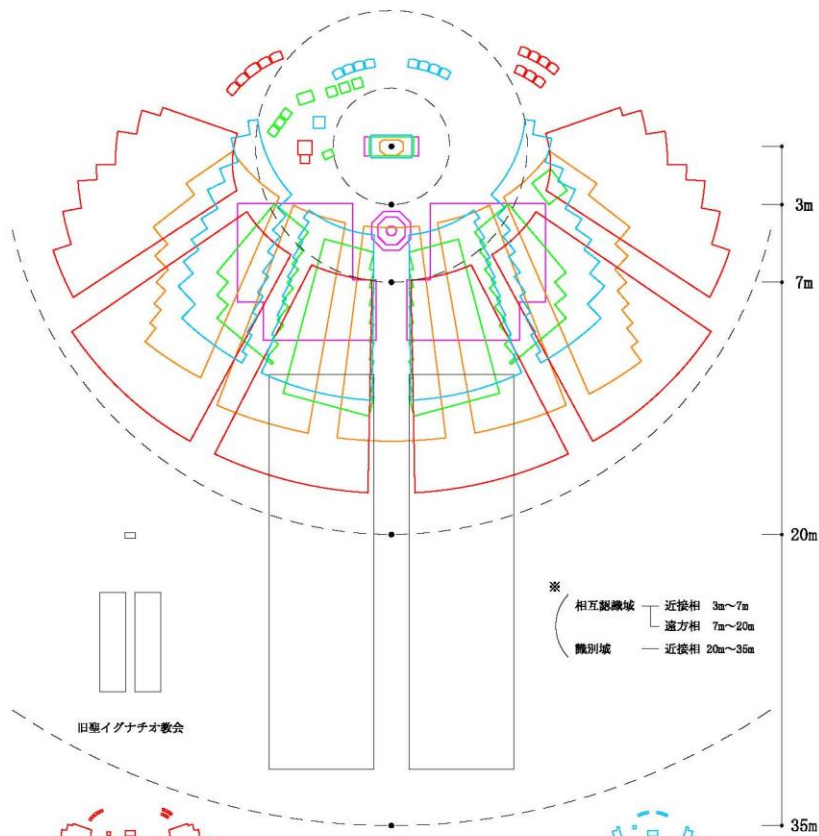
感謝の典礼（聖餐）の場

- ・教会の普遍的プログラムの第三

祈りの場 [聖とされるもの]



平面図 S=1:200



旧聖イグナチオ教会



聖イグナチオ教会



カトリック神戸中央教会



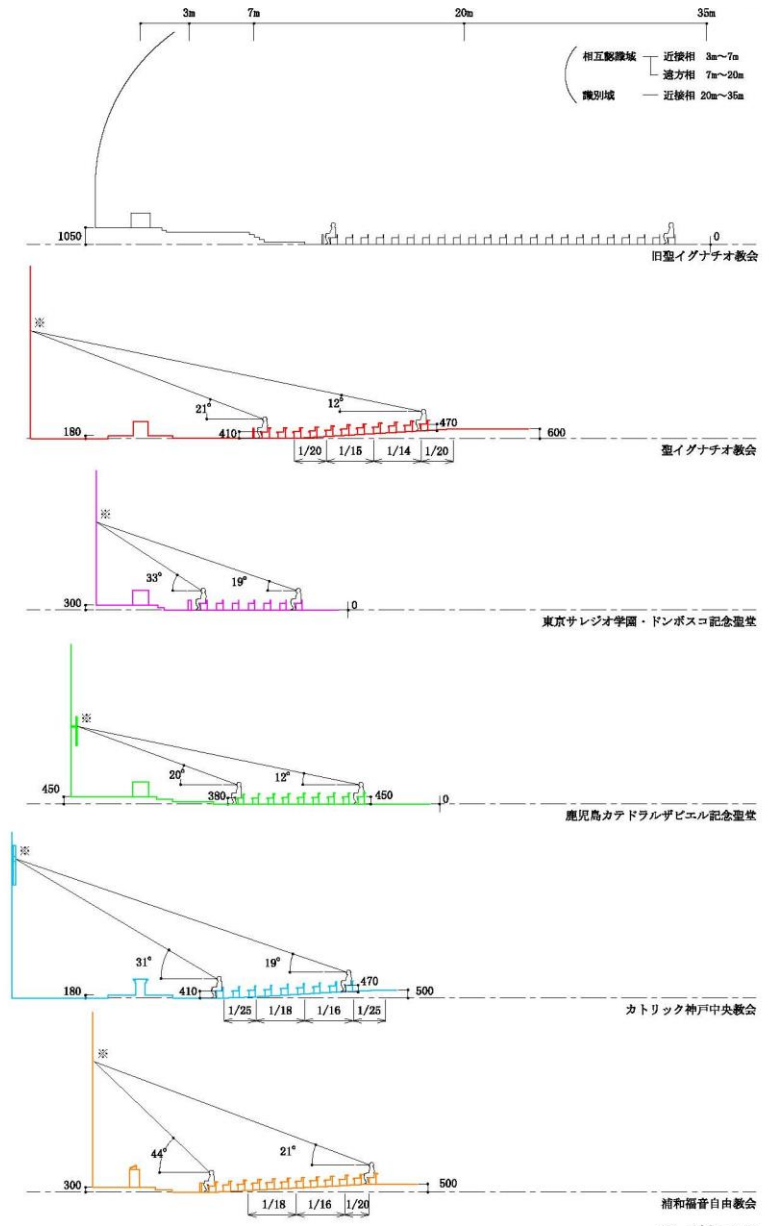
清和福音自由教会

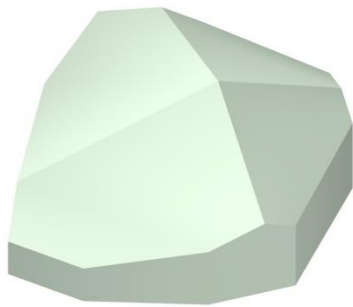
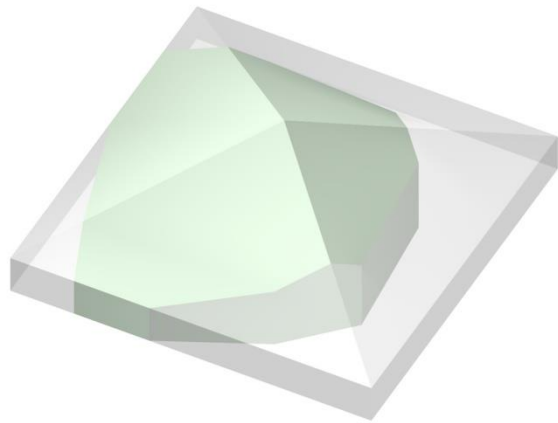


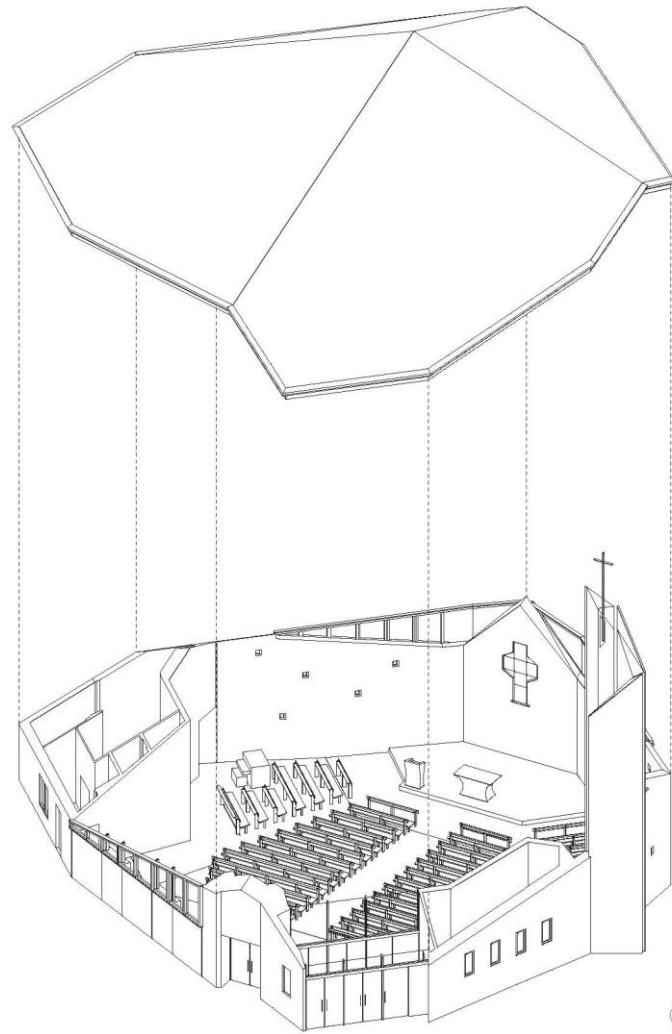
東京サレジオ学園・ドンボスコ記念聖堂



鹿児島カテドラルザビエル記念聖堂









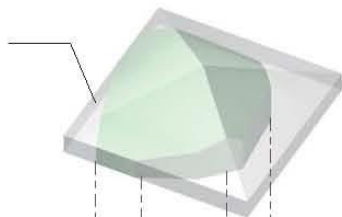
カトリック調布教会の設計競技の条件

長寿命の建築
超ローコスト

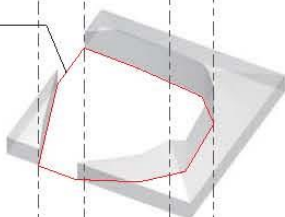
空間ボリューム・構造躯体の優先
石に刻まれたロマネスクの精神性



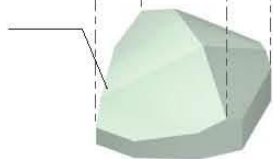
一辺23.54mの
正方形



新しい典礼に必要
とした平面形状



切り取り後形状

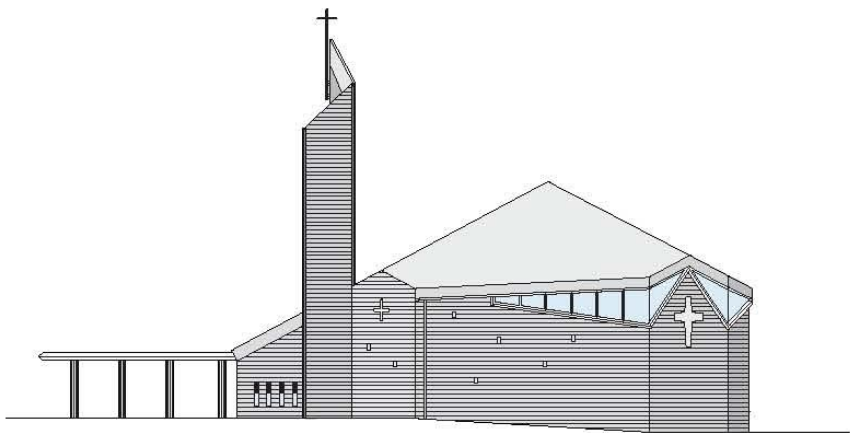


聖堂全体の形態は一辺23.54mの正方形平面に5.3寸勾配の方形屋根を架けた形が原型である。そのボリュームを新しい典礼に必要なとされる平面形状で切り取った。屋根はポイドスラブによる折版構造とし、梁と柱のない大空間をつくった。正面左右のハイサイドライトは、巾約10mの連続開口で鉛直荷重を受けるH型钢をサッシ枠とあわせ存在感を消し開放的につくっている。

GL+18000

GL+11400

GL+0
TEL-500

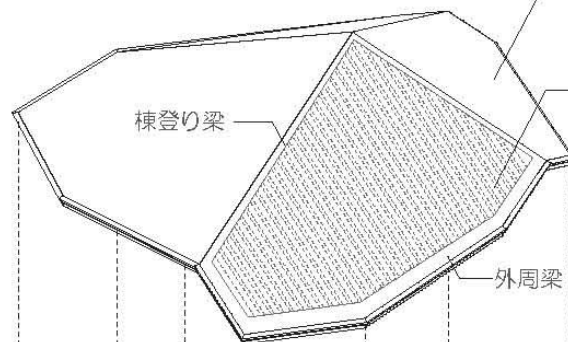


北側立面図 S=1:300

折板構造

RC躯体防水

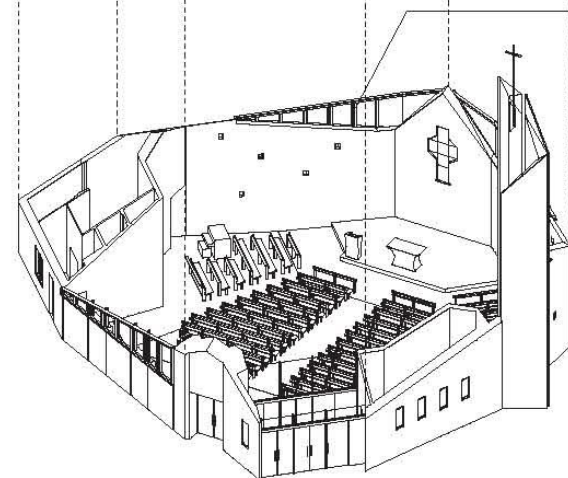
ポイドスラブ

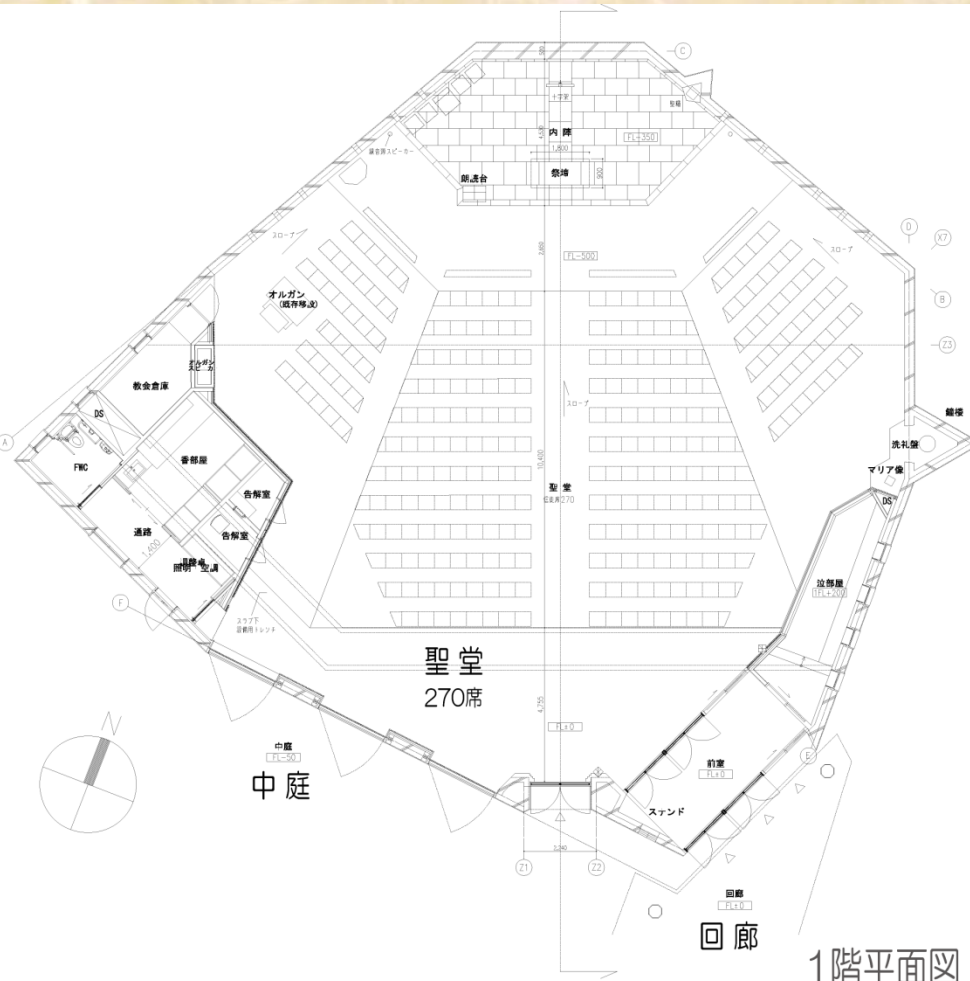


棟登り梁

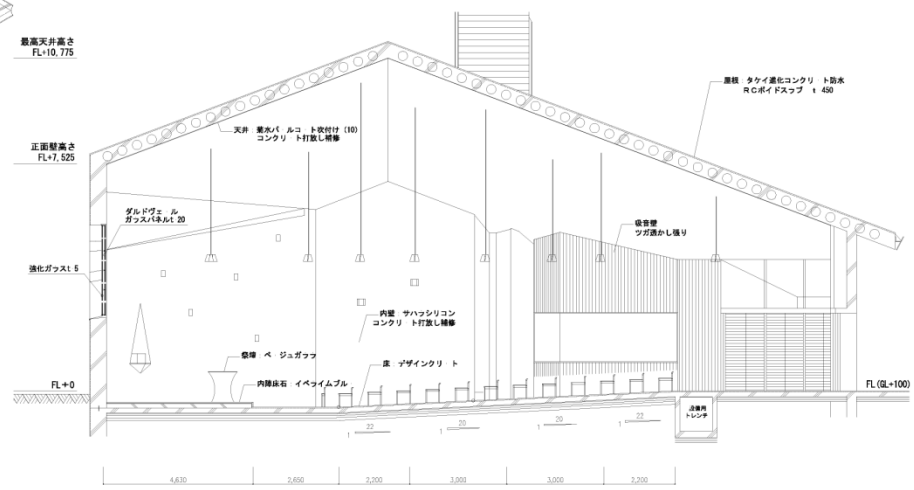
外周梁

ハイサイドライト





1階平面図



断面図

屋根、外壁、床
コンクリート素地

天井と内壁は躯体に直接仕上材吹き付け

屋根・・・コンクリート躯体防水
勾配屋根のための両型枠と片型枠が交互で表情

外壁・・・幅広杉板型枠（秋田杉）により木目の表情

内部の床・・・型押し着色コンクリート



カトリック 国分教会
サレジオ小学院







カトリック調布教会の設計競技への回答

本質的な祈りの場の創造

多くの人々に関わる建築
精神的な根底のイメージの共有

目にみえないものを
目にみえるようにすること

「ことば」

空間にこめられる思いをあらわす

「仕組み」が内蔵される

「ことば」を空間におきかえる

建築に光をいかに刻むか

ことばをさがす手法

設計競技・・・光を刻む表現・・・

図6. d. 7 調布教会、十字架についてのワークショップ



十字架なし



十字架あり

光背の検討



過ぎ越しの聖堂

復活の希望に包まれる光をイメージ
ダルドヴェールガラス光背

祭壇と朗読台・同じ石
信徒席の緩やかな勾配

十二使徒をイメージしたステンドグラス











